



平成31年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成31年1月11日

上場会社名 前澤工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6489 URL http://www.maezawa.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松原 正
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員管理本部 (氏名) 神田 礼司 (TEL) 048-251-5511
 副部長兼経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成31年1月15日 配当支払開始予定日 平成31年2月14日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年5月期第2四半期の連結業績(平成30年6月1日～平成30年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年5月期第2四半期	10,585	4.2	△658	—	△637	—	△547	—
30年5月期第2四半期	10,161	17.0	△784	—	△757	—	△726	—

(注) 包括利益 31年5月期第2四半期 △596百万円(—%) 30年5月期第2四半期 △529百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年5月期第2四半期	△29.83	—
30年5月期第2四半期	△39.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年5月期第2四半期	30,189	16,256	53.8
30年5月期	31,598	16,887	53.4

(参考) 自己資本 31年5月期第2四半期 16,252百万円 30年5月期 16,887百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年5月期	—	4.00	—	6.00	10.00
31年5月期	—	5.00			
31年5月期(予想)			—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年5月期の連結業績予想(平成30年6月1日～平成31年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,000	4.8	1,170	9.3	1,200	1.9	900	1.0	49.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、 除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年5月期2Q	21,425,548株	30年5月期	21,425,548株
② 期末自己株式数	31年5月期2Q	2,862,324株	30年5月期	3,092,176株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年5月期2Q	18,352,147株	30年5月期2Q	18,333,574株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済状況は、個人消費の持ち直しや設備投資の増加に加え、雇用情勢の着実な改善などを背景に、景気は緩やかに回復していると思われます。一方で、通商問題の動向が世界経済に与える影響や、海外経済の不確実性、金融資本市場の変動の影響に留意する必要があるとあり、依然として不透明な状況で推移しました。

当社グループを取り巻く事業環境は、少子高齢化に伴う人口減少などによる自治体の財政難の顕在化により公共投資は減少傾向にあり、非常に厳しい環境が続きました。

一方で、高度成長期に整備された施設・設備の老朽化に伴う更新や地震などの自然災害、エネルギー問題への対応など、新たなニーズも高まってきております。

このような状況のもとで当社グループは、持続的な成長をめざすために、「Be a Challenger 2020」をスローガンとした中期3カ年経営計画（2018年度～2020年度）を策定し、長年にわたり実績を積み上げてきた技術・製品による新市場の開拓やイノベーションによる事業の拡大、更新対応・省エネルギーなど顧客ニーズを捉えた技術・システムの開発・改良・提案により、受注の確保、拡大を図るとともに、グループ一丸となった生産性向上による業務の迅速化や原価低減等により、経営基盤の強化を図ってまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、受注高は17,662百万円（前年同期比5.6%減）、売上高は10,585百万円（前年同期比4.2%増）となりました。

損益につきましては、経常損失は637百万円（前年同期757百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は547百万円（前年同期726百万円の損失）となりました。

なお、当社グループの事業の特徴として、受注した装置類の納期等が3月末に集中することから、売上および利益計上が第4四半期に集中する傾向にあります。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

①環境事業

環境事業については、公共投資の減少傾向等により、引き続き厳しい事業環境が続きましたが、受注高5,501百万円（前年同期比28.6%減）、売上高5,233百万円（前年同期比13.2%増）、セグメント損失174百万円（前年同期435百万円の損失）となりました。

②バルブ事業

バルブ事業については、公共投資の減少傾向等により、引き続き厳しい事業環境が続き、受注高4,755百万円（前年同期比6.9%減）、売上高3,429百万円（前年同期比8.9%減）、セグメント損失240百万円（前年同期119百万円の損失）となりました。

③メンテナンス事業

メンテナンス事業については、公共投資の減少傾向等により、引き続き厳しい事業環境が続きましたが、施設の長寿命化の需要もあり、受注高7,405百万円（前年同期比25.7%増）、売上高1,922百万円（前年同期比8.3%増）、セグメント損失215百万円（前年同期203百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は30,189百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,408百万円減少しました。主な変動項目としましては、現金及び預金が3,037百万円、電子記録債権が2,030百万円減少しており、受取手形及び売掛金が1,198百万円、仕掛品が1,187百万円増加しております。

負債合計は13,932百万円となり、前連結会計年度末に比べ777百万円減少しました。主な変動項目としましては、前受金が505百万円増加しており、電子記録債務が377百万円、長期借入金が273百万円減少しております。

純資産合計は16,256百万円となり、前連結会計年度末に比べ630百万円減少しました。主な変動項目としましては、利益剰余金が664百万円減少しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年5月期の通期業績予想につきましては、平成30年7月13日に「平成30年5月期 決算短信」で公表しました業績予想に変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,049	4,012
受取手形及び売掛金	5,240	6,438
電子記録債権	3,147	1,117
商品及び製品	2,047	2,702
仕掛品	2,164	3,351
原材料及び貯蔵品	1,355	1,359
その他	533	1,084
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	21,537	20,063
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,117	2,083
機械装置及び運搬具（純額）	754	930
工具、器具及び備品（純額）	438	485
土地	3,613	3,613
建設仮勘定	78	—
有形固定資産合計	7,002	7,112
無形固定資産	57	52
投資その他の資産		
その他	3,010	2,971
貸倒引当金	△10	△10
投資その他の資産合計	3,000	2,960
固定資産合計	10,060	10,125
資産合計	31,598	30,189

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,900	2,827
電子記録債務	3,411	3,033
1年内償還予定の社債	290	227
1年内返済予定の長期借入金	746	746
リース債務	15	15
未払金	632	539
未払賞与	352	369
未払法人税等	171	61
前受金	2,121	2,626
工事損失引当金	176	148
完成工事補償引当金	74	20
その他	663	658
流動負債合計	11,554	11,274
固定負債		
社債	408	326
長期借入金	1,553	1,280
退職給付に係る負債	905	899
長期末払金	69	62
リース債務	53	51
繰延税金負債	166	39
固定負債合計	3,156	2,658
負債合計	14,710	13,932
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,233	5,233
資本剰余金	4,794	4,798
利益剰余金	7,207	6,543
自己株式	△1,008	△933
株主資本合計	16,228	15,642
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	659	609
その他の包括利益累計額合計	659	609
新株予約権	—	4
純資産合計	16,887	16,256
負債純資産合計	31,598	30,189

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成29年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年6月1日 至平成30年11月30日)
売上高	10,161	10,585
売上原価	8,481	8,673
売上総利益	1,680	1,912
販売費及び一般管理費	2,464	2,570
営業損失(△)	△784	△658
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	34	35
貸倒引当金戻入額	12	—
その他	7	7
営業外収益合計	56	42
営業外費用		
支払利息	16	11
株式交付費	—	7
貸倒引当金繰入額	7	0
その他	5	4
営業外費用合計	29	22
経常損失(△)	△757	△637
特別利益		
固定資産売却益	—	0
投資有価証券売却益	—	0
特別利益合計	—	1
特別損失		
固定資産除却損	17	15
投資有価証券売却損	—	0
ゴルフ会員権評価損	13	—
特別損失合計	30	15
税金等調整前四半期純損失(△)	△787	△651
法人税、住民税及び事業税	16	16
法人税等調整額	△77	△120
法人税等合計	△60	△103
四半期純損失(△)	△726	△547
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△726	△547

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成29年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年6月1日 至平成30年11月30日)
四半期純損失(△)	△726	△547
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	197	△49
その他の包括利益合計	197	△49
四半期包括利益	△529	△596
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△529	△596
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成29年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年6月1日 至平成30年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△787	△651
減価償却費	226	224
引当金の増減額(△は減少)	△17	△81
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△5	△6
受取利息及び受取配当金	△35	△35
支払利息	16	11
支払手数料	0	0
株式交付費	—	7
為替差損益(△は益)	0	0
固定資産売却損益(△は益)	—	△0
固定資産除却損	17	15
売上債権の増減額(△は増加)	△403	832
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,550	△1,844
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,688	△579
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△0
前受金の増減額(△は減少)	607	505
未払消費税等の増減額(△は減少)	△0	—
未払賞与の増減額(△は減少)	143	16
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△208	△432
その他の流動負債の増減額(△は減少)	178	△128
その他	26	3
小計	△3,481	△2,144
利息及び配当金の受取額	35	35
利息の支払額	△15	△10
法人税等の支払額	△223	△259
法人税等の還付額	126	49
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,559	△2,328
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△332	△206
有形固定資産の除却による支出	△7	△2
無形固定資産の取得による支出	△8	△14
投資有価証券の売却による収入	—	2
貸付金の回収による収入	1	0
その他	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△347	△219
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△456	△273
社債の償還による支出	△137	△145
支払手数料の支払額	△0	△0
割賦債務の返済による支出	△6	△6
リース債務の返済による支出	△2	△2
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の処分による収入	—	70
新株予約権の発行による収入	—	4
配当金の支払額	△73	△110
財務活動によるキャッシュ・フロー	△675	△462
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,582	△3,010

現金及び現金同等物の期首残高	8,105	6,863
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△26
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,522	3,826

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 平成29年6月1日 至 平成29年11月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	環境事業	バルブ 事業	メンテナ ンス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,622	3,763	1,775	10,161	—	10,161
セグメント間の内部売上高 又は振替高	13	263	8	285	△285	—
計	4,636	4,026	1,784	10,447	△285	10,161
セグメント損失(△)	△435	△119	△203	△758	△25	△784

(注) 1 セグメント損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成30年6月1日 至 平成30年11月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	環境事業	バルブ 事業	メンテナ ンス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,233	3,429	1,922	10,585	—	10,585
セグメント間の内部売上高 又は振替高	70	299	61	432	△432	—
計	5,304	3,729	1,984	11,018	△432	10,585
セグメント損失(△)	△174	△240	△215	△631	△26	△658

(注) 1 セグメント損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。